

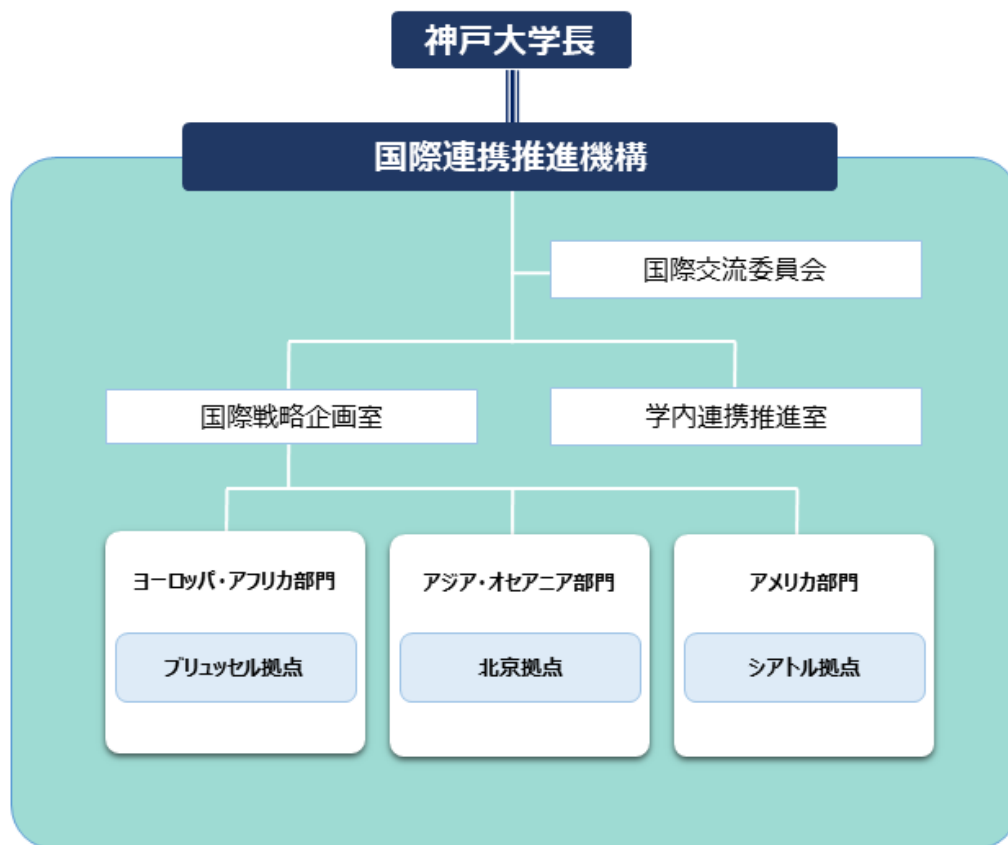
神戸大学国際連携推進機構の独自性（強み）

神戸大学は、長期ビジョンにおいて、国内外での様々な連携・共創を高い次元で推進し、世界最高水準の異分野共創型教育研究拠点を構築して、現代及び未来社会の課題を解決できる優秀な人材育成と新たな価値創造によりイノベーションを創出し、超高齢化、ポストコロナ、知識集約型デジタル社会に貢献するという目標を掲げている。

第3期中期目標期間においては、グローバル化に関する目標を達成するため、「海外オフィス等の拡充や海外大学との連携強化による国際シンポジウム・セミナーの開催」、「国際共同研究の促進による国際共著論文の倍増」及び「学生の受入、派遣数の増加」などの取組みを中心に実施してきた。さらに、第4期中期目標期間からは、KU ビジョンを具体化していくために、大学における国際戦略を明確に定め、国際交流活動などをこれまで以上に推進することが求められている。

このため、2022年4月、国際連携推進機構の体制を見直し、国際戦略の企画・立案を基軸として各部局との連携を強化し、包括的海外拠点を最大限に活用して効果的な国際広報を行うことによって、国際連携をより強力に推進する組織へと改組した。

大学の国際戦略を策定し、各地域の活動を統括する「国際戦略企画室」と、学内各部局の国際交流に関する連携強化を役割とする「学内連携推進室」を新たに設置し、国際戦略企画室の下に設置した「ヨーロッパ・アフリカ部門」、「アジア・オセアニア部門」、「アメリカ部門」が、全体の戦略に基づき、地域の垣根を越えて協力し、国際交流活動、海外ネットワーク強化を推進する。



◆国際戦略企画室

国際戦略企画室は、ヨーロッパ・アフリカ部門、アジア・オセアニア部門、アメリカ部門の相互連携を促進し、本学における教育及び研究に関する国際戦略を策定するとともに、本学の国際化を推進する。

◇ヨーロッパ・アフリカ部門

ヨーロッパ・アフリカ部門は、ヨーロッパ・アフリカ地域の大学・研究機関との個々の共同研究に加え、特に日欧の科学技術連携を促進するため、欧州の学術支援機関等のネットワークに参画し、国内外の大学、研究機関との連携を強め、欧州の各種外部資金獲得の支援強化を図る。これらの活動拠点としてブリュッセル拠点を設置している。

◇アジア・オセアニア部門

アジア・オセアニア部門は、アジア・オセアニア諸国・地域における交流や教育研究にかかる多様な企画のサポートや遂行を通じて、神戸大学がアジア・オセアニアにおける教育研究のハブとしての機能を果たすと同時に、次世代のアジアを担う研究者や若者が集うために、創造的で開放されたフォーラムとなることを目指す。これらの活動拠点として北京拠点を設置している。

◇アメリカ部門

アメリカ部門は、北・中南米との連携を推進しているが、これまでは北米を中心にした個別の研究交流が中心となっている。現在、それらをより戦略的に展開するとともに、大学としてリーダーシップを発揮し、より高い成果の上がる国際共同研究へと発展させる支援体制の構築を目指す。これらの活動拠点としてシアトル拠点を設置している。

◆学内連携推進室

学内連携推進室は、本学の国際戦略の共通理解を形成し、学内の国際交流情報の一元化を図ることで、学内各部局の国際交流に関する連携を強化する。